

戦後の拡大造林により植林された北部(北摂)地区と吉野林業の流れを汲み高密度植栽・多間伐の伝統林業地である南部(南河内)地区の双方において、適正な森林整備によるCO2吸収量の増大を図り、吸収量を金銭価値化して、林業経営の安定化に努めます。

プロジェクトの実施場所	豊能郡能勢町天王地区 河内長野市石見川地区
吸収量	年間 159 t-CO2
在庫量	155 t-CO2(2012年7月時点)
クレジットの次回発行予定	2013年 8月
1t-CO2あたりの希望単価	—

大阪府の森林面積は都道府県別で最も少なく、林野率も約3割と低くなっていますが、市街地を取り巻くように森林が連なり、880万府民の環境林として公益性は非常に高いといえます。

府民や企業に身近な存在である大阪の森林は森林保全やCO2削減に貢献できるものと考えられ、大きなインパクトが期待されています。

当組合では間伐材を住宅用木材や土木資材に加工生産する施設を保有しています。またバイオマス燃料化にも取り組み、今春、確立した世界初のバイオコークス量産システムなどにより、木材利用によるCO2削減にも寄与できるよう努力しています。



■担当者連絡先

大阪府森林組合 (専務理事) 田川、山田  
072-698-1121

E-Mail s-tagawa@o-forest.org  
s-yamada@o-forest.org